

# 地震発生時の対応について

## 成城大学

はじめに

地震は、いつ起こるのか、自分がどんなところにいて何をしているときに遭遇するのか、わかりません。被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに行動することが極めて重要です。また、いざという時のために、自分の行動を想定し、準備をしておくことも、とても大切なことです。もしものときに備えて、家族で災害時の対応や連絡方法について、確認しておいてください。

大きな揺れを感じたら

### 自分の身を守る。

- **とにかく頭を守る。** →

例) 丈夫な机などの下にもぐり、脚をしっかりと握る。バッグや上着などで、頭を保護する。

頭	適切に判断する「脳」
	情報を収集するための「目」「耳」「鼻」
	情報伝達のための「口」
	呼吸をするための「口」「鼻」

- **あわてず、揺れがおさまるのを待つ。**

大学内	教室・建物内	机の下に潜って落下物から身を守り、教職員や放送の指示に従って行動する。 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口の確保をする。
	中庭	頭を保護しながら、あわてず3号館ピロティに向かう。動けない場合は、しゃがむ。

- **落下物・転倒物をできるだけ避ける。**

例) 屋内:窓ガラス・蛍光灯・棚・パソコン・テレビ・ポット / 屋外:ガラス・看板・ブロック塀・石塀

揺れがおさまったら

### 自分のいる場所が安全かどうかを判断する。

- **まず周囲を確認し、身の安全を確保することを一番に考える。**  
・周囲で火災発生した場合は、速やかに避難する。…『火災等対応マニュアル』参照
- **避難の判断は、正しい情報を把握することが大切。(デマが飛び交うことがある)**

大学内	教室・建物内	教職員や放送の指示に従って避難する。勝手に外にでない。 エレベーターは絶対に使用しない。 外に避難するときは、落下物に注意する。頭の保護を忘れない。
	第1グラウンド	成城大学の避難場所は、第1グラウンド。
	中庭	大学中庭は、消防・救急の活動場所となるので、立ち止まらず速やかに避難場所にむかう。
学外		公的機関の避難指示、勧告があった場合は、それに従う。 避難指示がなくても、身に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難する。

- **安全な場所にいる場合は、その場にとどまる。**

・テレビ・ラジオなどの被災情報を、常に確認する。

地震が起きる前に

### 家族で防災会議をする。

- **家族との連絡方法、家族の集合場所(避難場所)の確認**  
・被災地では、連絡手段が限られることがあるので、連絡方法・集合場所を確認しておく。  
・公衆電話等から利用できるNTTの「災害伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害用伝言板」などのサービスがあるので活用法を家族で確認しておく。
- **家の中のどこが一番安全かを確認**  
・玄関が開かなくなることも想定し、家の中から外への脱出ルートを複数考えておく。
- **家族それぞれの避難経路の確認**…大学・職場から家、家から避難場所など  
・大学から自宅への、安全な避難経路を確認しておく。  
・特に、自宅外に住む場合は、その地域の避難場所、安全な避難経路を確認しておく。
- **非常持出品、備蓄品を備える**

# 成城大学 災害時避難経路図

## 避難場所：第1グラウンド



### AED (自動体外式除細動器) 設置場所

学園案内所 (正門)	専用ケース	中高体育館 高校側玄関内
大学 1号館 1階 保健室前	専用ケース	中学校高等学校地下1階守衛室
大学 3号館 1階 学生ホール	専用BOX	中学校高等学校1階エントランス内
大学 8号館 1階 エントランスホール	専用BOX	幼稚園 玄関ホール
大学 9号館 2階 ラウンジ	専用ケース	初等学校 体育館内
大学 トレーニングセンターロビー	専用BOX	初等学校 第3校舎 東棟1階
大学 体育館玄関内	専用BOX	第2グラウンド (南側倉庫内)
		法人棟2階事務室 (10月~4月)
		学園プール更衣室 (5月~9月)

### 学園案内所<正門>

AED 03-3482-1452

#### ※学内緊急時の連絡先

学内で、火災を発見した場合、救急車・消防車を要請する(した)場合の連絡先